

栗東歴史民俗博物館 特集展示

栗東創世記～聖火が栗東を走ったころ～



2/2 Sat — 3/3 Sun 入館無料

休館日：2/4、12、18、25

栗東歴史民俗博物館

栗東創世記

～聖火が栗東を走ったころ～

いまから 55 年前、昭和 39 年に東京でオリンピックが開催されました。アジア・太平洋戦争で敗戦国となった日本にとって、このオリンピックは戦後復興から更なる飛躍、そして国際社会への完全な復帰を意味しました。

昭和 39 年のオリンピックでは、当時アメリカ統治下にあった沖縄を含む全ての都道府県で聖火がリレーされ、栗東市域においても 9 月 30 日に聖火がリレーされていきました。この聖火リレーでは次世代を担う若者がリレーランナーにふさわしいという大会組織委員会の判断により若者、滋賀県では中学生から 20 歳までの青年男女がリレーランナーに選ばれています。

また、聖火リレーや東京オリンピックが開催された時代は、栗東においては現在まで続く町の景観や都市基盤が確立されていく過程にあります。

特に聖火リレー実施の前年、昭和 38 年日本で初めての高速自動車道路 名神高速道路栗東インターチェンジ-尼崎インターチェンジ間の開通とそれに伴う栗東インターチェンジの開業は栗東の景観を一変させる出来事でした。

今回の展覧会では、いよいよ本当にオリンピックが初めて日本で開催される、という実感とその後の町の発展の予感とともに、栗東を駆け抜けていった昭和 39 年の聖火リレーを中心に、現在の栗東市へと続く、まちづくりの歴史を取り上げて紹介します。



関連行事 学芸員による展示解説会

2/2 Sat 2/24 Sun いずれも 14:00～15:00

参加費無料・申込み不要

チラシ表 昭和 39 年東京オリンピック聖火リレー 滋賀県内第 20 区 栗東市伊勢落を走行する聖火リレー隊（個人蔵）
チラシ裏 上 昭和 39 年東京オリンピック聖火リレートーチ 滋賀県内第 17 区 栗東市小柿～手原区間で使用したもの（個人蔵）
中 昭和 39 年東京オリンピック聖火リレーユニフォーム 滋賀県内第 17 区で使用（個人蔵）

栗東歴史民俗博物館催し物情報

次回展覧会

小地域展 出庭の歴史と文化

3/16Sat～ 5月上旬まで

講演会 近江のサンヤレ踊り

3/23 Sat 14:00～15:30

講師：矢田直樹さん（滋賀県教育委員会）

